

会長就任のご挨拶

去る6月、「日本ビジネス中国語学会」の理事長及び会長職を20年にわたり務めて来られた藤本恒氏をご都合により辞任されました。これまでの会長としての積極的且つ多彩なご活躍ぶりは、学会をここまで発展させてきた原動力であったとも言えます。先ずは長期にわたり学会の発展に多大な貢献をされました藤本氏に、心から感謝の言葉を捧げたいと思います。また引き続きご指導ご協力を期待することは言うまでもありません。

後任会長として、先ず前会長から私を強くご推挙頂いたことを皆様にもお伝えしておきたいと思えます。私自身その任に堪える者ではないと自認しておりますが、多数の理事のご賛同も得、この度私が会長に就任することになりました。その任務の重さに身の引き締まる思いがしますと共に、またたいへん光栄なことに存じます。

当学会の創設者故伊地智善継先生（前大阪外国語大学学長）は、実は私の大学時代の恩師でもあり、私は先生から直にご指導と薫陶を受けました。結果的にはまだ十分に先生の示された目標に達しておりませんが、「常に努力だけは怠らない」と言う気持が私に根付いたことは、先生の学恩のおかげです。

会長職を引き継ぐに当たり、あらためて学会創設の趣旨をふまえ、今後の課題を考えたいと思えます。これまでも当学会は常に日中間の経済交流に注目、その課題を研究し、その発展を促す語学力の育成に力を注いでまいりました。従って学会はビジネスマン、学生などあらゆる日中間のビジネスに関心のある会員から成り立ち、常に相互の情報交流、研究学習の場を設け、また毎年「ビジネス中国語検定試験」を実施してまいりました。今年中国のGDPは日本を抜いて世界第2位となることが確実と見られます。今後日中間では益々壮大な交流が繰り広げられることでしょう。当学会はその交流の実務に役立つあらゆる知識を醸成する場でありたいと考えます。

今後とも日中経済交流を促進するために、学会の事業をより一層推し進めてまいりたいと思えます。会員の皆様方のご協力を切にお願いして、私の会長就任のご挨拶とさせていただきます。

2010年8月吉日

待場 裕子